

2/21

木のぬくもりを感じる 新校舎を公開

鷺別小学校校舎完成に伴う地域内覧会の開催



▲ガラス張りで明るく、開放的な1階のエントランスホール ▲海を望む多目的教室



▲児童の学習のほか、地域住民の避難場所としても活用する鷺別小学校新校舎

2月21日(火)、市は、鷺別小学校新校舎の地域内覧会を開催し、地域住民や学校関係者が参加しました。昭和33年に建設された同校舎は、耐震工事による耐震化の対応が難しかったため、平成26年から体育館を含む建て替え工事を進め、平成28年12月に完成しました。新校舎は、旧校舎の南側に位置し、鉄筋コンクリート造りの4階建てで、屋上の海拔は20・8m。防災倉庫や非常用発電機を備えるなど、約千人が避難できる津波避難ビルとしても活用します。

また、地域住民の文化・スポーツ活動、世代間交流の場として利用できる特別活動室や多目的ホールを設置し、地域のコミュニティを高める施設となっています。

このほか、校舎屋上に太陽光パネルを設置し、再生可能エネルギーの活用や児童の環境学習に活用するなど、さまざまな学習活動機能を有しています。

内覧会の参加者は、新校舎のさまざまな設備に驚き、感心しながら、「子どもたちが安心して学習できる素晴らしい環境ですね」と話していました。

4月1日から利用を開始する同校舎。鷺別小学校の新たな歴史が始まろうとしています。

『登別牛乳カステラ』が 29品目の推奨品に認定

平成28年度登別ブランド推奨認定証交付式

3月9日(木)、市役所で『平成28年度登別ブランド推奨認定証交付式』(登別ブランド推進協議会主催)が開催されました。

今回、新たに登別ブランド推奨品として認定を受けた、登別まちづくり株式会社『登別牛乳カステラ』は、登別産の牛乳と卵を使用し、北海道の原材料にこだわった商品です。

また、『北海大だこ地獄漬』、『文志郎の納豆輪(なま)昆布巻』、『のほりべつとろりプリン』、『湯の香ひょうたん飴』の4商品も引き続き認定を受け、同協議会では、これらの推奨品の販売促進などの支援を続けていきます。

3/9



各商品の販売店などの問い合わせは
登別ブランド推進協議会事務局
(商工労政グループ内・☎2171)



▲登別まちづくり株式会社と銘菓本舗かめやが連携して開発し、新たに推奨品として認定を受けた『登別牛乳カステラ』

市は、市の昔の街並みや日常生活の様子に分かる資料を探していますので、お持ちの方はぜひご連絡ください。

▼担当 総務グループ(☎1130)



▲昔を懐かしみながら語り合った参加者

昔話に花を咲かせて

登別地区の市民による 地域の昔を語る座談会

市は、市史編さん事業の一環として、各地域の方に昔のまちの様子などを語り合っていたいただき、地域史の基礎資料とするため、市内を14地区に分けて、鉄南地区(1月20日(金)開催)を皮切りに、『市民による地域の昔を語る座談会』(市主催)を開催しています。2月24日(金)には、婦人センターで開催。登別地区に住んでいる約10人の方に参加していただきました。

座談会では、戦争当時の話や昭和58年の集中豪雨の体験談などが飛び出し、参加者は当時を思い出しながら昔語りを楽しみました。

2/24